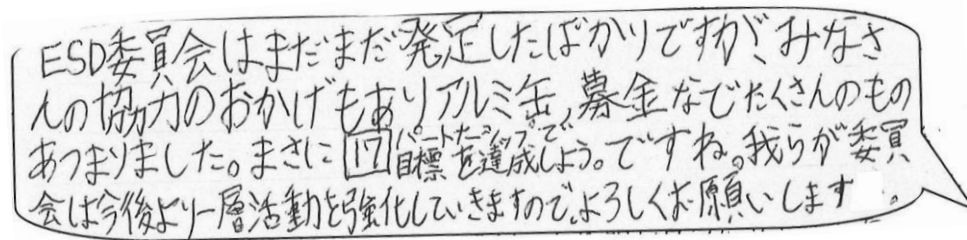


南稜中学校は豊橋市教育委員会より「ESD～持続可能な開発のための教育～」についての研究を委嘱され、令和元年度から学校生活のさまざまな場面でESDの視点を取り入れた活動に取り組んでいます。

## ESD 委員会の前期活動報告

総合的な学習の時間だけでなく、学校全体でこれまで以上にESDをすすめていくために、委員会組織を再編しました。本年度新しく立ち上げたESD委員会では、SDGsと結びつけて緑の羽根募金、ユニセフ募金、エコキャップ回収運動、アルミ缶回収運動を行いました。これらの活動は以前から南稜中学校で行われていましたが、今の世界の状況や活動の目的を全校生徒が理解したことにより、回収量も増え、より主体的に取り組めるようになりました。2021年6月に行われた「エコキャップ回収キャンペーン」では、縦割り団ごとに回収量を競い、1週間で200kgのエコキャップを集めることができました。また、この活動が植田小児童による自主的な活動にも発展し、今後ますますの広がりが期待できます。これ以外にも、生徒集会で劇やクイズを交えてESDやSDGsについて紹介したり、持続可能な社会の実現のために自分たちにできることを話し合ったりしました。



前期委員長

## SDGs チャレンジカードを作成しました

SDGsは地球に住むすべての人が取り組むべき目標です。その取り組み方は無限大です。一人ひとりが目標をもって身近なところから変えていったり、友達と一緒に取り組んだりすることもよいと思います。裏面にESD委員会で作成した「SDGsチャレンジカード」を載せました。ぜひ、ご家庭でも話題にいただき、南稜中学校に関わるすべての人で持続可能な社会を目指しましょう。このチャレンジカードを家族で見えるところに掲示するなど、活用してもらえると嬉しいです。

## 出前授業「SDGs」のようすを紹介します！

豊橋市役所未来戦略創生室の職員さんを講師にむかえ、SDGsについて学ぶ授業を1、2年生で実施しました。まず、今世界にあるさまざまな問題を確認し、SDGsの意味や目的を説明してもらいました。その後、SDGsを達成するために、豊橋市としてどんな取り組みをしているかを聞き、自分たちには何ができるかを考えました。生徒の意見交換では、「エコバッグを使う」「ポイ捨てをしない」「自転車や公共交通機関を使う」など、身のまわりの問題を自分事として考え、すぐに実践できるものが多くみられました。

